

		はい	どちらともいえない	いいえ	意見	改善
環境・体制整備	1	17%	33%	50%	・感染症の疑いや多動な児童と医療行為の多い子どもたちとの間で距離間が持てるスペースがあればと思う時がある。 ・利用人数が多い時はとても狭い。	マットの配置を工夫するとともに、利用中に体調が悪くなった子どもをお迎えに来るまでの間、他の利用者から少し離れた場所でお預かりできるようなスペースを確保していきます。
	2	33%	50%	17%	・職員が休めない時がある。	スタッフの増員を行います。
	3	100%	0%	0%		
業務改善	4	33%	67%	0%		個別支援計画書の担当を決めることで、今後はよりPDCAサイクルを意識して業務を行っていきます。
	5	33%	67%	0%		今後も定期的なアンケートを実施し、その結果をもとに業務の見直しを行い、改善につなげていきます。
	6	0%	67%	33%	・見たことがない。	今回ホームページにて公開予定です。
業務改善	7	17%	50%	33%	・外部評価を見たことがない。	現在は行っていませんが、今後必要に応じて第三者評価を行っていきます。
	8	17%	83%	0%	・外部の研修等に参加する機会があつてはどうか？	病院や他事業所との連携を深めていくとともに、研修については行われる研修の内容に適したスタッフが参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	9	83%	17%	0%		
	10	33%	67%	0%	・定期的な変更や書き換えなどをしていく必要があるのではないか？	決められたツールはあるが、今後検討を重ね、より見やすいものに改善していきます。
	11	67%	33%	0%	・支援にあたる職員全体で具体的な支援についての話はされていると思うが、求められる書面の目標設定が難しいように思う。	子どもの状態をもっと把握するため、学校や他事業所との連携を深めるよう努めます。
	12	50%	50%	0%	・日によってできないことがあるので、改善しなければならぬ。	お互いに声掛けをしながら、活動等の時間を確保するとともに、スタッフ間の情報共有を徹底します。
	13	67%	17%	17%		今後は子どもたちの状態を今以上に把握し、意見を出し合いながら活動内容を決めていきます。
	14	50%	50%	0%	・保育士、訓練士が考慮してくれている。	より意見を出し合いながら活動内容を工夫していきます。

適切な支援の提供	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	50%	50%	0%		今後も個別支援計画に沿って個別活動と集団活動ともに楽しめるよう、保育士が中心となって活動を展開していきます。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33%	67%	0%		今後、話し合いの時間を作っていきますが、難しい場合は申し送りノートを活用するなど、情報の共有を行っていきます。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17%	83%	0%	・業務多忙時は話し合えていない時がある。	今後、話し合いの時間を作っていきますが、難しい場合は申し送りノートを活用するなど、情報の共有を行っていきます。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	33%	67%	0%	・全員が記録できるようにしていかなければならないと思う。	スタッフ全員が記録できるようにするとともに、分かりやすい内容で、記録をとるようにする。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	33%	67%	0%		今後も子どもの状況に精通したものが参加し、その後の情報共有を確実にいきます。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	33%	67%	0%		今後必要に応じて連携を取っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%	50%	0%		今後必要に応じて連携を取っていきます。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%	50%	0%	・直接主治医と連絡を取る機会がないので分からない。	必要な子どもは主治医や関係機関と連絡を取り、体制の整備を行います。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	33%	67%	0%	・保護者を介して話を聞く程度。どこまで介入して良いのかが難しい。	日頃から情報共有できる関係づくりを行います。
25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	33%	17%	・送迎の際などに話が聞けるように努力している。	送迎時では不十分なこともあるため、連絡を取って積極的に情報共有を行います。	
関係機関や保護者との連携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	67%	17%	・連携はあるものの、研修などはない。	療育センターや他事業所に協力を依頼し、助言や研修などを積極的に受けるようにしていきます。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害の有無に関わらず、様々な方たちと活動する機会があるか	0%	50%	50%		現在は実施していませんが、各ご家庭の要望や意見を取り入れながら、検討していきます。

の連携関係機関や保護者との連携	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0%	50%	50%		機会があれば今後積極的に参加していきたいです。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	67%	33%	・聞いたことがない。	今後必要に応じて支援していきます。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	33%	50%	17%	・自分が携わらないので分からない。	現在契約の時に行っています。今後はスタッフに周知するとともに、丁寧な説明を心がけます。
	32	児童発達支援ガイドラインや子どもの状況に基づいて作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	50%	50%	0%		今後も継続して行っています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%	0%	・話は聞けてもサポートできているかどうかは分からない。	保護者からの話を聞き、必要に応じてスタッフ間で共有して助言や支援を行っていきます。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	33%	67%	・分からない。	今後必要に応じて対応していきます。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	33%	0%		相談や要望等があればその内容に応じて対応していきます。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	33%	17%	・夏からできていなかった。	今後は定期的にOZだより等で発信していきます。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	83%	17%	0%		写真の管理等を徹底していきます。
保護者への説明責任等	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	33%	0%		個々に合わせたコミュニケーションの方法を配慮しています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	83%	17%	・招待する機会がない。	今後ご家族の意見等を取り入れながら、行ってきたいと思っています。
非常時	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	33%	67%	0%		今後も毎月の訓練を継続していくとともに、マニュアルの見直しや整備を行います。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	33%	67%	0%	・どんなことがあるか分からないので想定が難しい。	消防署との連携を行っていきます。

呼等への対応	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	67%	33%	0%	・発作に個人差があるため、利用したばかりの子どもに対しては難しいものがある。	現在契約時に確認していますが、今後は日頃の様子を見るときにも、定期的に確認していきます。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	17%	33%	・対象となる子どもがいない。	必要に応じて対応していきます。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%	・ヒヤリハットの認識が少し違うと思う。	職員会議や朝礼で共有するとともに、より良い報告の方法を検討していきます。
非常時等への対応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	50%	0%		今後も毎月の職員会議で実施していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	50%	50%	0%		個別支援計画についての理解を深めるため、事業所内で研修を行うとともに、ご家族との面談を通して、必要時には同意書を取ったうえで個別支援計画書に記載していきます。